

めるへん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

第4次地域福祉活動計画をつくりました!



(石井社協会長に答申を行なう金藤策定委員長)

昨年末より策定作業を行なつておりました「玖珠町第4次地域福祉活動計画」が完成し、さる3月31日に金藤策定委員長より石井社協会長に答申されました。

この計画は住民の皆さん的安全安心の暮らしをつくることを目的に、平成27年度より5カ年に亘る民間の行動計画として策定され、福祉の専門職だけでなく、広く町民の皆さんと共に連携しながら推進していくものになつています。

この計画の策定に当たつては策定委員や作業委員の皆さんより意見を頂くだけでなく、町内7カ所で懇談会を開き皆さんと地域の問題を共有してまいりました。

今後はこの計画に基づいて活動を推進していくますが、是非とも多くの町民の皆さんにご協力頂きますようよろしくお願ひいたします。

一人ひとりの状況に合わせて支援を行います。 生活困窮者自立支援法スタート

生活困窮者自立支援法は、地域で生活に困窮している人(※)たちが生活保護に陥らないように、その前の段階で早く自立できるように相談支援員が相談に応じ、自立に向けた支援へつなげる制度です。

「税金や家賃、水道料などの支払いに困っている」「借金が多くてどうしたらよいかわからない」「誰に相談してよいかわからない」などお悩みでしたら、ぜひご相談ください。問題解決に向け、一緒に取り組んでいきましょう。

(※生活困窮者とは現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが出来なくなる恐のある者をいいます)

（必須）**自立相談支援事業**

あなただけの支援プランをつくります。

生活に困りごとや不安を抱えている場合は、まずは社協の相談窓口にご相談ください。相談員が相談を受けて、どのような支援が必要かをあなたと一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行ないます。

（必須）**住居確保保給付金事業**

家賃相当額を支給します。

離職などにより住居を失った方、または失う恐れの高い方には、就職に向けた活動をすることなどを条件に、一定期間家賃相当額を支給します。生活の土台となる住居を構えた上で、就職に向けた支援を行ないます。

（任意）**家計相談支援事業**

家計の立て直しをアドバイスします。

家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸付の紹介等を行ない、早期の生活再生を支援します。

「自立相談支援事業」を中心に、家計相談支援事業など実施していきます。

また既存の事業やサービスも利活用して皆さんの支援をしていきます。

このほかにも、「就労支援」や「子どもの学習支援」など地域の状況に応じて新たな事業を進めていきます。



ひとりで抱え込まずに先ずはご相談ください。 相談から自立まで継続して支援します。

①まずは社協の相談窓口へ

- ・社協に配属されている相談員が対応します。何らかの理由で窓口にお越し頂けない場合はご自宅まで訪問いたします。（担当職員：穴井、長）

②生活の状況を見つめる。

- ・あなたの生活の困りごとや不安を相談員にお話しください。生活の状況と課題を分析し「自立」に向けて寄り添いながら支援を行います。

③あなただけの支援プランを。

- ・相談員はあなたの意思を尊重しながら、自立に向けた目標や支援内容を一緒に考え、あなただけの支援プランを一緒につくります。

④支援決定・サービス提供。

- ・完成した支援プランは関係者の話し合い（支援調整会議）により正式に決定され、その支援プランに基づいて各種サービスが提供されます。

⑤定期的なモニタリング

- ・各種サービスの提供がゴールではありません。あなたの状態や支援の提供状況を相談員が定期的に確認し、支援プラン通りに行かない場合は支援プランを再検討します。

⑥真に安定した生活へ

- ・あなたの困り事が解決されると支援は終了しますが、安定した生活を維持できているか、一定期間、相談員によるフォローアップがなされます。

新人職員紹介

4月から地域福祉推進部の福祉活動推進員として働いてあります、日隈と申します。

4月の初旬に「いきいき元気教室」や「いきいきサロン」などにも参加し、地域の皆様とお話ししが出来るように出向いて行きたいと思いつのでこれからよろしくお願い致します。



日隈 夏美

4月より地域福祉推進部に勤務しております。穴井と申します。多くの地域の皆様との関わりを持ち、玖珠町に少しでも貢献できたらと思っています。早く名前を覚えていただけるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



穴井美智代



香典返し
長野船岡 小野 昭治 様
下綾垣 帆足トミカ 様
下組 佐々木昌博 様
久恵 中島 圭史 様
栄町 村口 和好 様
鹿倉 帆足 源三 様
昭和町 小野 洋子 様
金山町上 荒木 盛男 様
小麦川野 佐藤 六郎 様
金山町下 佐藤 正弘 様
森小野 立花 光義 様
上町下 竹本 泰明 様
木牟田 梶原ひろ子 様

寄付金
朝見 安部信一郎 様
卓球クラブつくし会 様
匿名 1件
物品寄付
下綾垣 帆足トミカ 様
玖珠町立八幡小学校児童会 様

ご本人ご家族の了承を得て掲載しています

(平成27年2月25日～平成27年4月20日)

「偶然の出会い」一期一会

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 石井 由久雄

三月に『地域福祉講演会』を実施しました。講師は『住民流福祉総合研究所』の木原氏です。テーマは『助けられ上手』でした。この日は、雪模様でかなり積もりましたが、たくさんの方が来てくださいました。

印象に残ったのは、『最期までその人らしく生きる』ということでした。そして、人が生きる上で『大切と思う』6項目をあげられました。

の『来る』から久留米の『久留』に字を変えたのです。

ここまで説明したところで、先生の目が輝きました。

「え？ ジやあ、ここは久留島武彦と関係あんの？」

「そうですよ！ ここは生誕地です。久留島武彦をご存じでしたか？」

木原氏は、三十代はじめの頃、「青少年文化センター」に勤務していたそうです。この団体は久留島武彦が初代会長を務めており、没後、「久留島武彦文化賞」が設立され、その選考の事務にあたっていたそうです。

木原氏は、その仕事をしながらも、久留島武彦が九州の玖珠町の出身だとは知らなかつたと言います。

お話を終わって、昼食を共にしました。玖珠の名物『子育てだんご汁』を食べて頂きました。食堂は森町久留島武彦生誕の『久留島陣屋跡地』近くの『日本一小さな城下町』のメインストリートにあるお店です。

食べながら、説明をします。「ここは豊後森藩の城下町です。」「豊後森藩は関ヶ原の合戦の後、村上水軍の来島一族が、ここに封じられて出来た藩で、ここに『日本一小さな城下町』を作りました。」

「来島氏は、ここに移ってきて、行く来るとなつていくのです。

この団体は事務所が東京にあり、久留島武彦の活動の拠点で、今でも青少年文化振興活動をしています。一昨年から始まり、今年3回目の玖珠町主催「全国語りべ大会」の賞の一つがこの団体の理事長賞です。

木原氏と出会つて本当によかつたと思いました。また来てもらうことになるかも知れません。その時には、福祉の話だけでなく、久留島武彦についても、話していただくことができますから。

いきいきサロン

どげなふう会

代表 杉 鉄也

百回記念を顧みて

十年一昔と言いますが、それなりに会員の皆さんも年を取りました。平成17年に「どげなふう会」が発足してこの度100回をむかえる事ができ大変嬉しく思っています。これもひとえに会員の方々が積極的に参加し会を盛り上げ、リーダーの皆さんのが会に対し一生懸命に尽くされてきたからだと思います。おなじ目線で優しく、明るく、楽しく接している様子を見て感心、感動の100回でした。また、役場や社協の



皆様方の温かいご指導のおかげと感謝申し上げます。今後もさらに回を重ね150回～200回と継続していくことを期待しています。



調理ボランティア大募集！

一人暮のんや高齢者世帯の方など、「ふれあい弁当」を作成してお届けして集して頂く。楽しさボランティアしてみませんか？

作る日	毎月5、15、25日
時間	午後1時～4時
場所	各自治会館、メルサンホール
問合せ先	玖珠町社会福祉協議会

笑顔3倍、ストレス3分の1になる練しい実践法！」と題して講演会を開催しました。この間もみんなの楽しさ話はありふれた時間でした。参加者からは、「いいやもしかして」「日々いためになりました」「やさしく、家族の性格、本質などを知るきっかけになつた。それを理解すればやさしくストレスなく楽しこげるなどと思つました」などの感想をいただきました。

いただきました。今後もお母さんたちが笑顔になる講演会を計画しますのでお楽しみに！



子育て支援講演会に参加されたありがとうございました

玖珠町フットコーカボーネセッター事業